

授業科目 助産学実習

【担当教員名】 三澤 寿美 他	対象学年	4	対象学科	看護
	開講時期	集中	必修選択	選択
	単位数	8	時間数	360
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎
【概要・一般目標：G10】 妊婦・産婦・胎児・褥婦・新生児とその家族に対して、助産を実践できる基礎的能力を修得する。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1 妊婦・産婦・胎児・褥婦・新生児が、生理的範囲内で正常に経過しているかアセスメントできる。 2 妊婦・産婦・胎児・褥婦・新生児とその家族に対して必要な助産実践ができる。 3 妊婦・産婦・褥婦とその家族の心理社会的状態をアセスメントし、助産実践にいかすことができる。 4 妊婦・産婦・胎児・褥婦・新生児とその家族のリスク状態をアセスメントし、助産実践にいかすことができる。 5 母子と家族に対する助産師の役割・態度について考察することができる。				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1 2 3	学内オリエンテーション 実習施設：病院、クリニック、助産所 等 実習配置、実習内容：助産学実習要項に提示する		1～5	各実習施設において実習を行う
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	助産関連科目で使用した教科書を活用する			
参考書	必要に応じ随時提示します			
その他の資料	助産学実習要項			
【評価方法】 目標達成度の評価ならびに出席状況 100%		【履修上の留意点】 指定された科目の単位をすべて取得していることが必要です。助産学関連科目はもちろんのこと、これまでに学んだすべての内容を復習して実習に臨んでください。対象者の安全と満足度に十分配慮すると共に対象者の反応を重視し、課題意識をもって主体的に学習してください。		